

薬事・食品衛生審議会
平成18年度第1回血液事業部会需給調査会
議事要旨（案）

日 時：平成18年11月16日（木）10時～11時
場 所：霞ヶ関東京會館35F「シルバースタールーム」
出席者：高野座長、太田、清水、高橋各委員
（事務局）

関血液対策課長、植村血液対策企画官、藤井需給専門官 他

議 題：

- 1 前回議事要旨の確認
- 2 平成17年度及び平成18年度上半期の需給計画の実施状況について
- 3 平成19年度の需給計画（案）について
- 4 その他

審議の概要

議題1について

前回議事要旨については、意見があれば事務局あて連絡することとされた。

議題2について

資料2及び資料3に基づき、事務局から説明。平成17年度の実施状況等については、血液事業部会へ報告することとされた。

議題3について

事務局案どおり、平成19年度の原料血漿確保目標量については、97万Lとすることで暫定的に了承された。

<主な意見>

- 外国からの輸入品について、献血由来と非献血由来の割合等、整理がつけばデータとして提出して欲しい。
- 日赤が統合化、広域体制を組んできていることもあり、都道府県別の原料血漿確保目標量の割り当ての考え方も、ブロックごとに分けるなど、いろいろな工夫をする必要があるのではないか。
- アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤、血液凝固第Ⅷ因子製剤以外の血漿分画製剤についても、需要量調査を実施し、それらの製剤に関しても適正使用の観点からも対応するべき。